



自由と友愛の独立カトリック教会  
The Independent Catholic Church of Liberty and Fellowship

(教会通達 2025-04-17 / 1号)

## 教会名称改称に関する通達

発信日：2025年4月17日（聖木曜日）

発効日：2025年4月20日（復活日）

発信者：大主教 佐藤俊介

✠主の平和が皆様とともにありますように。

主のご受難とご復活を記念するこの聖なる時にあたり、自由と友愛の独立カトリック教会は、祈りと対話のうちに熟慮を重ねた結果として、以下の通り、教会名称の改称を正式に決定いたしました。

### 【新名称】

日本語：自由と友愛の独立アングリカン教会

英語： *The Independent Anglican Church of Liberty and Fellowship*

この名称は、教会の神学的立脚点、霊的精神、ならびに制度的在り方を明確に言い表すものであり、以下の神学的・歴史的意図に基づいております。

### 【1】アングリカンの伝統の明示

当教会はその起源において、アングリカン（聖公会）の礼拝、聖職制度、信仰告白の伝統を忠実に継承しております。

「アングリカン」の名は、わたしたちの信仰の出自と礼拝の霊性の系譜を、全世界の交わりに向けて明確に示すものです。

## 【2】「独立」の語の意義と制度的自律の神学的根拠

当教会が掲げる「独立（*independent*）」とは、単に制度的な非所属を意味するのではなく、むしろ現代のアングリカン・コミュニオンにおいて顕在化している神学的矛盾や倫理的不一致——とりわけ包摂性、ジェンダー正義、人権の尊重に関する遅滞——に対する、福音に基づいた批判的応答としての霊的自立を意味しております。

わたしたちは、受け継いだ伝統を福音の光に照らして再吟味するという信仰の責務に立ち、制度に従うこと以上に、キリストに従う道を選びました。この「独立」は分裂を意図するものではなく、むしろキリストの教会としての公同性と使徒継承に根ざした、責任ある霊的選択です。

## 【3】「カトリック」の語の削除と信仰の公同性の保持

当教会は、「*catholic*（公同）」という信仰告白を放棄するものではありません。むしろその本質をより忠実に保つため、制度上の誤解や混同を避ける目的から、名称表記よりこの語を削除するに至りました。

信条においては今後も一貫して、「一つ、聖なる、公同、使徒的教会（*One, Holy, Catholic, and Apostolic Church*）」を告白し続けます。

## 【4】「自由と友愛」の霊的核心の継承

「自由と友愛」は、本教会が創立当初より掲げてきた霊的ヴィジョンであり、宣教と共同体形成の根幹をなすものです。すべての人が、自由に、そして愛と尊厳をもって生きられる世界を目指すという霊的誓約は、今後、新たな名称のもとでさらに明瞭に表現されていくことでしょう。

本改称は、2025年4月20日（復活日）より正式に発効いたします。今後の教会名の表記、公式文書、広報活動等においては、順次新名称をご使用くださいますようお願いいたします。

復活の主が、この新たな呼び名とともに歩む私たちの教会を、誠実さと自由、そして愛をもって導いてくださいますよう、祈りを込めてお知らせ申し上げます。



自由と友愛の独立カトリック教会  
大主教 佐藤俊介